

2024年11月28日

寄附講義レポート⑦

記：種坂、柏木

1. 日時：2024年11月28日（木）13：10～16：20
2. 講師：古川龍二（50期）和歌山県知事室 万博推進課 課長補佐ほか4名
3. 受講生：63名
4. 講義項目：
 - （1）和歌山県職員の仕事～地方自治体の役割
 - （2）県庁での業務と仕事の選択
 - （3）2025年大阪・関西万博についての紹介と和歌山県の取り組み
 - （4）アクティブ・ラーニング（グループワーク）
 - （5）グループディスカッションの結果発表
 - （6）小テスト
 - （7）質疑応答
5. 講義内容：
 - （1）和歌山県職員の仕事（13：10～14：00）人事委員会事務局総務課所属（和歌山大学卒）坂本知奈美さん（経済学部）と外山昂生さん（経済学部）が分担して説明
 - ① 和歌山県の特徴
 - ② 国・県・市町村の違い
 - ③ 令和6年度和歌山県の施策
 - ④ 和歌山県職員の待遇
 - ⑤ 和歌山県職員採用試験
 - （2）県庁での業務と仕事の選択（14：00～14：40）和歌山県知事室万博推進課所属（和歌山大学卒）古川龍二さん（経済学部）を中心に湊盛彦さん（経済学部）光成紀恵さん（観光学部）も説明
 - （3）2025年大阪・関西万博についての紹介と和歌山県の取り組み（14：50～15：10）関西パビリオン和歌山ゾーンの内容を中心に古川さんが説明
 - （4）グループワーク（15：10～15：20）
テーマ「未来の都市と持続可能な技術、未来都市で見てみたい技術やインフラ」
 - （5）グループワーク結果発表（15：20～15：35）
3グループより発表
 - （6）柑芦会アンケート（5分）・小テスト（15：40～16：10）
テーマ「大阪関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を踏まえて、和歌山県で取り組むべきことを、理由を添えて記載してください。」
 - （7）質疑応答（16：10～16：30）
講師ほか4名が相談対応

6. 感想（種坂）

「現代経営実践論」（一業界研究一）という科目は、民間企業主体の企業説明会的内容に陥らないために、「HP にない勤務先のおき情報」や「ご自身の企業業界の選択経験や魅力」「先輩卒業生訪問の重要性や社会人の感覚理解」に主眼を置いて講師の方に講義をお願いしております。過去にも大阪市役所など地方公務員の卒業生に講義を依頼したことはありますが、講義頻度は少なく今回講義の担当教員をお願いして県庁の人事委員会事務局に講師派遣の承諾を得ました。

毎年本学から県庁一般行政職に採用されていて、民間においても行政と関わりのない企業がないことから公務員という業界職種の理解は有益であると思っています。和歌山県は生産と観光が主な経済基盤であり、和歌山大学も和歌山県の発展に役立つ人材を提供する機関の一つです。古川講師が担当する大阪関西万博への県の取り組みも関西代表企業と同様の視点です。民間でも行政でも企画力が職員に必要とされ、学生のみなさんにはそのための基礎力を学生時代に養ってほしいと思います。

古川講師を含め5人の本学卒業生がお越しになり、現役学生と触れ合う機会が持てたことは、双方にとって大きな収穫であったと感じました。次回も万博以外のテーマで県の取り組みを紹介して欲しい。

感想（柏木）

グループワークでの各グループでのホワイトボードでの意見交換の取り組み姿勢が各チームとも短時間でまとめられたのは好感が持てた。県庁からの5人のOBたちがそれぞれの県庁職員になるまでや現職の役割を語っていたのは公務員職を希望する学生達にとって意義深いものとなったのではないかと思われる。講義終了後も個別に5人のOBたちに質問を投げかけていたが対応も良かったのでは。

前回までの講義が民間企業での体験談が主体だったので民間人とは違った役割での体験談は新鮮だったように思われる。

※和歌山県万博特設ホームページ「和歌山百景」<https://www.wakayama-kanko.or.jp/expo2025/>

グループワーク作業風景（正面左）



グループワーク作業風景（正面右）



講師の方々



講義学習風景（正面右）

